

看護研究のすすめ方

大阪母子医療センター

看護研究委員会

作成：2004 年 1 月

改訂：2005 年 4 月

2008 年 2 月

2011 年 3 月

2016 年 11 月

2019 年 1 月

2021 年 3 月

目次

1. 看護研究のすすめ方
2. 研究の流れ早見表
3. 看護研究計画書
 - 1) 看護研究計画書作成の手引き
 - 2) 看護研究計画書ひな形
 - 3) 看護研究説明文書に記載すべき内容
 - 4) 看護研究計画提出書類リスト
4. 看護研究抄録
 - 1) 看護研究抄録の作成規定
 - 2) 看護研究抄録のサンプル
5. 看護研究集録
 - 1) 看護研究集録原稿の作成規定
 - 2) 看護研究集録原稿のサンプル
6. 院内倫理審査について

資料

院内看護研究発表スケジュールのご案内
看護研究発表についてのお知らせ

*この「看護研究のすすめかた」のデータは、看護管理室の看護研究委員会議事録ファイルに入っています。

1. 看護研究のすすめ方

看護研究の目的は、対象者に良い看護を提供するため、看護上の課題を明らかにしてより良い方法を見出し、看護実践の基礎となる科学的知識体系を発展させることです。

院内看護研究発表会で発表する際は、本ファイルを活用して計画的に看護研究をすすめましょう。

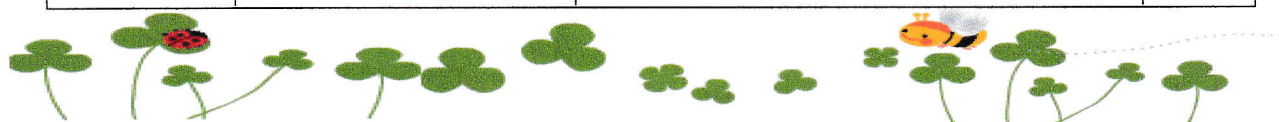
看護研究に取り組むにあたって

1. 看護研究に取り組む際は、部署の指導者および看護師長の了解を得て開始してください。
看護研究の全過程において、部署の指導者および看護師長の指導を必ず受けてください。
2. 看護研究に取り組む方は、全員臨床研究支援室主催の「研究倫理セミナー」を受講し、受講番号を取得してください。「研究倫理セミナー」は毎年受講し、年度が替わるごとに新しい受講番号を取得してください。
3. 院外の方が共同研究者に加わる場合、部署の看護師長から看護部へ報告してください。
4. 研究計画書を作成するにあたり、文献検索は必ず行いましょう。
5. 看護研究を行う際には、十分な倫理的配慮が必要です。具体的な倫理的配慮については、センターホームページ (<https://www.wch.opho.jp/center/activities/rinri.html>) 内「倫理審査申請書類チェックリスト」を参照し、研究計画書を作成しましょう。
6. 人を対象とする看護研究の場合には、倫理委員会での審査が必要です。院内倫理審査については、「6. 院内倫理審査について」を参照してください。

2. 研究の流れ早見表

日付を書き込んでスケジュールの目安として使用してください。

第 回院内看護研究の流れ早見表			日付 月/日
発表 19 か月前	院内看護研究発表 スケジュールのお知らせ		/
16 か月前	研究計画書の提出	研究計画書、研究に必要な資料（依頼文・同意書・インタビューガイド・アンケート等）、倫理審査の申請書等一式を全て提出してください	/
15 か月前	第 1 回ミーティング	部署の指導者または看護師長は必ず出席してください	/
14 か月前	修正後の研究計画書提出	必要な資料一式を提出してください	/
13 か月前	第 2 回ミーティング	部署の指導者または看護師長は必ず出席してください	/
院内倫理審査		部署の指導者および看護師長の承認を得た後、担当研究委員の事前チェックを受け、臨床研究支援室に提出 ※倫理委員会の指摘、修正事項はその都度担当研究委員に報告してください	/
倫理審査 承認後	倫理審査承認後の研究計画書の提出		/
3 か月前	発表原稿案提出	発表に用いる図表も提出してください	/
2.5 か月前	第 3 回ミーティング	部署の指導者または看護師長は必ず出席してください	/
2 週間前	抄録 集録原稿素案 発表スライド原稿	配布資料に従って提出してください	/
			/
院内看護研究発表会			/
2 か月後	集録原稿案提出		/
2.5 か月後	第 4 回ミーティング	研究指導者または看護師長は必ず出席してください。	/
4 か月後	集録原稿提出		/



3. 看護研究計画書

1) 看護研究計画書作成の手引き

研究計画書を作成する意義

- ・ 研究の全体像が把握できる
- ・ 研究の課題、目的、方法に矛盾がなく、一貫しているのが把握できる
- ・ 仮説から、分析内容が把握できる
- ・ 研究計画書を作成することで方向性が定まる

研究計画書

研究のテーマ（研究課題）

- ・ 簡潔明瞭にする
- ・ 研究の内容がイメージできる。テーマを読んだら何をするのかわかる
- ・ メインテーマは 25 字程度までにまとめる
40 字以上ならサブテーマをつける
メイン「～効果」 サブ「どういう視点からみる」
メイン「(最後のゴールのテーマ) サブ「(メインテーマに向けての) 第 1 報」
- ・ キーワードが入っている（最も重要なキーワードが必ず入っている）

キーワード

- ・ 文献検索の際に、この研究に該当する言葉を選択する
- ・ この研究の特徴となる言葉を選定する
- ・ 二語の組み合わせにしない
例) ×看護師の意識 (助詞を含む語を使わない)

研究の動機と背景

* 動機と背景はまとめて書く

< 動機 >

- ・ なぜこの研究に取り組もうと思ったのかを、自分の言葉で具体的に書く
(実際は動機から書くと考えやすい。その中からキーワードが見つかる)
- ・ 論文作成では「はじめに」で使える

<背景>

- ・この研究に対する社会的な動向はどうであるのかを記述する
- ・この研究に対する文献検索の結果、どのようなことがわかっていて、どのようなことが明確になっていないかをまとめる
- ・この研究の看護学的な意義を書く
- ・論文作成では「はじめに」や「考察」に使える

研究目的

- ・研究によって何をしようとしているのか、研究によって何をどこまで達成しようとしているのか、明確に書く
- ・テーマに使っている言葉を使って文章を構成する
(テーマをもう少しわかりやすく説明したものが<目的>になる)

研究の意義

- ・研究の成果が、今後どのように看護実践に反映するのかを記載する
- ・研究成果が社会的にどのように貢献するのかを記載する

研究方法

- ・課題を明らかにするために、適合した方法を選定する
- ・仮説が出てくるかを検討する

1. 研究デザイン

- ・研究に適した研究方法の選定

研究質問	研究の目的	研究デザイン	
どのように思っているのか？ どんな経験をしているのか？ どんな意味があるのか？	因子を探索する 因子に命名する	質的記述 研究デザイン	グラウンデッドセオリー エスノグラフィ 事例研究 など
Aが起こる要因は何だろうか？	関係を探索する 因子を関係つける 状況を記述する	量的研究 研究デザイン	実態調査 疫学
AとBは関係あるだろうか？	関係を検証する 状況を関係つける	仮説検証型	調査研究
この看護ケアはAに効果があるだろうか？	因果仮説を検証する	因果関係検証型 研究デザイン	実験研究 準実験研究

2. 対象・期間および場所

- ・課題や仮説と見合わせて適切であるか対象を検討する
- ・対象の背景を詳細に記載する
- ・期間は余裕を持って具体的に記載する

3. データの収集方法

- ・質問紙法、面接法、観察法、測定方法など課題を明らかにするために適合した方法を選定する
- ・収集の手順（5W1H）：誰が・いつ・どこで・どのようにして収集するのか、その理由も記載
- ・対象者への説明方法を記載
- ・測定用具（アンケート用紙・インタビューガイドなど）の選定、使用する測定用具について詳細を記載

4. データの分析方法

- ・研究の目的に応じてデータ分析を選択する
 - ・用いる統計手法を記載する
- * 分析方法が詳細に書かれた文献などを参考に書く

タイムスケジュール

- ・論文発表までの具体的な日程を記載する

役割分担

- ・研究代表者、研究分担者、研究協力者など具体的な役割を明確にする

倫理的配慮

- ・対象者の人権擁護の視点から絶対必要である
(詳細は「倫理に関すること」「看護協会倫理規定」参照)

予測される研究の限界

- ・本研究では知ることができないこと、問題点などについて書く

引用文献

- ・文中に記載した文献のみを記載する
- ・書き方は看護研究集録原稿基準に順ずる

3. 看護研究計画書

2) 看護研究計画書 ひな形

<u>提出年月日</u>	<u>所属長印</u>
<u>部署名</u>	
<u>研究者名</u>	
<u>研究のテーマ（研究課題）</u>	
<u>研究の動機と背景</u>	
<u>研究目的</u>	
<u>研究の意義</u>	
<u>研究方法</u>	
<u>タイムスケジュール</u>	
<u>役割分担</u>	
<u>倫理的配慮</u>	
<u>予測される研究の限界</u>	
<u>引用文献</u>	

3. 看護研究計画書

3) 看護研究説明文書に記載すべき内容

研究に応じて以下の内容を看護研究説明文書に明記してください。

- ☐ 研究の名称及び当該研究の実施について研究機関の長の許可を受けている旨
- ☐ 研究機関の名称及び研究責任者の氏名（共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名を含む）
- ☐ 研究の目的及び意義
- ☐ 研究協力の任意性と撤回の自由（自由意思と拒否権）
- ☐ 研究方法（研究協力内容をわかりやすく記載）
- ☐ 研究協力にもたらされる利益および不利益（研究対象者、社会）
- ☐ 研究協力により起こりうる危険ならび不快な状態とそれが生じた場合の対処方法
- ☐ 研究に関する情報公開の方法
- ☐ 研究協力者等への結果の開示
- ☐ 個人情報等の保護
- ☐ 研究成果の公表
- ☐ 研究から生じる知的財産権の帰属
- ☐ 試料・情報等の保管及び廃棄の方法
- ☐ 試料・情報等の授受、記録に関する事項
- ☐ 費用負担及び利益相反に関する事項
- ☐ 問合せ先（研究を行う看護者及び研究責任者の氏名、職種、連絡先、連絡方法）
- ☐ 同意文書へのサインが不可能あるいは困難な場合にはその理由と代諾者等の選定方針

3. 看護研究計画書

4) 看護研究計画書提出書類リスト

- ☐ 看護研究計画書または倫理審査申請書および看護研究計画書
 - ☐ 看護研究計画書の所定の位置に看護師長の認印
- ☐ 研究協力依頼書（説明文書）
- ☐ 研究同意文書・研究同意撤回文書
当センターホームページ⇒センターの取組⇒倫理委員会⇒倫理委員会各種申請用紙からダウンロードする。
- ☐ アンケート用紙もしくはインタビューガイドなどデータ収集に使用する資料

4. 看護研究抄録

1) 看護研究抄録の作成規定

1. 内容

- 1) テーマ (あればサブテーマも)
- 2) 部署および発表者
- 3) 【目的】【方法】【結果】【考察】の順に記載する。

2. ページ設定

- 1) 用紙サイズ A4 縦、1 枚
- 2) 文字数 40 字、行数 33 行
- 3) 余白 上下 25mm 左右 30mm

3. 書式設定

- 1) テーマは MS 明朝、フォントサイズ 16、中央揃え
- 2) サブテーマは MS 明朝、フォント 10.5、中央揃え
- 3) 部署、発表者名は MS 明朝、フォントサイズ 10.5
- 4) タイトル (【目的】【方法】【結果】【考察】) は MS ゴシック、フォントサイズ 10.5、左寄せ
- 5) 本文は MS 明朝、フォントサイズ 10.5
- 6) 英数字は Century

ページ設定
用紙サイズ A4縦
文字数 40 字
行数 33 行
余白 上下 30mm
左右 25mm

部署、発表者
以降は五十音順
最後に責任者

30mm

2) 看護研究抄録のサンプル

テーマ
MS 明朝
フォント 16
中央揃え

低出生体重児の母乳育児に関連する要因についての検討

サブテーマがある場合は
MS 明朝
フォント 10.5
中央揃え

1行あける

母性西棟 母子 花子 和泉 太郎 室堂 次郎

1行あける

部署、名前
MS 明朝
フォント 10.5
中央揃え

【目的】当センター母性棟では、1981 年の開院当初より母子を一体の存在を捉えてケアするために、母子同室を行っている。ケアの対象には、低出生体重、持続点滴治療、酸素和度モニターを装着している子どもが含まれるが、できるだけ母子分離をしないよう努めている。しかし、現在母性棟に低出生体重で出生した子どもの母乳育児に関するケアの針はない。そこで今回、母子同室中の低出生体重児の母乳育児に関連する要因を分析し、ケアの方向性と今後の課題について検討するために、母子同室を行っている低出生体重児の生後 1 か月までの母乳育児に影響する因子を明らかにする。

本文
MS 明朝
フォント 10.5
英数字は Century

【方法】(期間) 2011 年 1 月～2011 年 3 月 (90 日間)

(場所) 母性棟

(対象) 母性棟で出生直後より母子同室を行っていた低出生体重児とその母親。

(方法) 日本母乳の会が推奨する「〇〇」を参照し、母乳育児に影響を及ぼすと考えられる母親因子 8 項目と新生児因子 8 項目を独自に作成した。退院時の直接母乳育児率を算出し、母乳率に影響を及ぼすと思われる因子について t 検定または χ^2 乗検定を用いて検討した。データの解析は SPSS.ver16 を使用し、 $p < 0.05$ を有意差ありとした。

タイトル
MS ゴシック
フォント 10.5

【結果】研究期間に、出生直後から退院時まで母子同室をおこなっていた低出生体重児とその母親は〇組であった。対象となる新生児の出生体重は〇g (〇%) であった。直接母乳育児率に影響を及ぼす因子として、24 時間以内の授乳回数〇回 (〇%)、〇は〇回であった。退院時の栄養方法は、直接授乳〇人 (〇%)、直接授乳と搾母乳の補足〇人 (〇%)、人工乳との混合栄養は〇人 (〇%) であった。

【考察】今回の研究では、出生後 24 時間以内の直接授乳回数が 8 回以上で退院時直接母乳率が優位に高くなっていた。山内らは、正規産、2500g 以上の新生児を対象に出生後 24 時間以内の直接授乳回数と、日齢 3、5 での新生児が摂取した母乳量に相関があると報告している。このことから、低出生体重児の母乳育児においても、週数相当体重児と同様に出生後 24 時間の直接授乳回数を増やすことの重要性が示唆された。

25mm

30mm

25mm

5. 看護研究集録

1) 看護研究集録原稿の作成規定

1. 集録原稿は、A4 版、制限枚数は図・表を含め 7 枚までにおさめる。
2. Key words (原則として日本語で 3～5 語以内) を明記する。
3. 原稿の仕上げにあたっては、以下のことを確認する。
 - 1) 書式設定は集録原稿作成のサンプルを参照する。
 - 2) ひらがな、常用漢字、現代仮名遣いを使用する。
 - 3) 図(写真)のタイトルは図の下部(センタリング)、表の標題は表の上部(センタリング)に統一する。字体はゴシック体とする。
図・表番号のあとに「.」を入れ、図表の上下 1 行あける。
 - 4) 日本語で表わせる用語はできるだけ日本語を用い、外国語は避ける。ただし、人名、薬品名、地名は原語でもよい。
 - 5) 数量の単位は、km、m、cm、mm、 μ 、mu、ml、kg、g、mg、 μ g、mEq/l、mg/dl などを用い、文中の数字は算用数字(1、2、3、など)を用い、半角にする。
 - 6) 見出しの番号や記号は全角とし、論文全体を通して統一する。
例：数字の場合 例：記号の場合
I、1、1)、(1)、① A、a、a)、(a)
 - 7) 商標登録されているものには、右上部に™または®をつける。
4. 文献は、集録原稿サンプルの文献の書き方を参照し、引用したものを列挙する。
5. 最終の集録原稿は看護研究委員長にメールで提出する。

5. 看護研究集録

2) 看護研究集録原稿のサンプル

テーマ：MS 明朝、フォント 16、センタリング

低出生体重児の母乳育児に関連する要因についての検討

ーサブテーマー

サブテーマ：MS 明朝、フォント 10.5、センタリング 1行あける

母子□花子□□和泉□太郎□□室堂□次郎

発表者、以降はあいうえお順、最後に責任者

1行あける

部署：MS 明朝、フォント 10.5、センタリング

母性西棟

姓名の間は1字、各人の間は2字あける

1行あける

Key words：低出生体重児、母乳育児、母子同室

概念的に重要・大きな順、MS ゴシック、フォント 10.5

1行あける

本文は段組2段、段の幅20字、MS 明朝、フォント 10.5、文字幅狭く間隔 1.1pt

はじめに MS ゴシックで

□当センター母性棟では、1981年の開院当初より母子を一体の存在を捉えてケアするために、母子同室を行っている。母性棟における母子同室の開始基準は、在胎週数35週以上、出生体重1800g以上で、全身状態が安定しており、経管栄養を必要としない新生児である。対象には、低出生体重、持続点滴治療、酸素飽和度モニターを装着している子どもが含まれるが、できるだけ母子分離をしないよう努めている。

□しかし、現在母性棟に低出生体重で出生した子どもの母乳育児に関するケアの指針はない。そこで今回、母子同室中の低出生体重児の母乳育児に関連する要因を分析し、ケアの方向性と今後の課題について検討することとした。

1行あける

I. 研究目的と研究の意義 MS ゴシックで

□母子同室を行っている低出生体重児の生後1か月までの母乳育児に影響する因子を明らかにする。

II. 研究方法

1. 対象

□母性棟で出生直後より母子同室を行っていた低出生体重児とその母親。

2. 調査項目

□日本母乳の会が推奨する「〇〇」を参照し、母乳育児に影響を及ぼすと考えられる母親因子8項目と新生児因子8項目を独自に作成した。以下にその項目を記す。

母親因子：分娩様式、出生後24時間の直接授乳の回数、・・・

新生児因子：出生体重、最大体重減少率、・・・

3. 期間：2011年1月～2011年3月

4. 分析方法

□退院時の直接母乳育児率を算出し、母乳率に影響を及ぼすと思われる因子についてt検定または χ^2 乗検定を用いて検討した。データの解析はSPSS. ver16を使用し、 $p < 0.05$ を有意差ありとした。

5. 倫理的配慮

□得られた情報は、本研究以外では使用せず、データは番号処理し個人が特定できないよう

左余白
25mm

右余白
25mm

にした。当センター倫理委員会で承認を得た。

1行あける

Ⅲ. 結果

1. 対象の属性

□研究期間に、出生直後から退院時まで母子同室をおこなっていた低出生体重児とその母親は○組であった(表1)。

1行あける

表1. 対象の属性

MS ゴシック、表の上方、センタリング

1行あける

2. 退院時の栄養方法

□退院時の栄養方法は、直接授乳○人(○%)、直接授乳と搾母乳の補足○人(○%)、人工乳との混合栄養は○人(○%)であった(図1)。

1行あける

図1. 退院時の栄養方法

MS ゴシック、図の下方、センタリング

1行あける

3. 直接母乳育児率に影響を及ぼす因子

1行あける

Ⅳ. 考察 MS ゴシック

□今回の研究では、出生後24時間以内の直接

授乳回数が8回以上で退院時直接母乳率が優位に高くなっていた。山内らは、正規産、2500g以上の新生児を対象に出生後24時間以内の直接授乳回数と、日齢3、5での新生児が摂取した母乳量に相関がある¹⁾と報告している。このことから、低出生体重児の母乳育児においても、週数相当体重児と同様に出生後24時間の直接授乳回数を増やすことの重要性が示唆された。

1行あける

おわりに MS ゴシック

□出生後24時間の直接授乳回数が多いほど、退院時の直接母乳率及び1か月健診時の直接母乳率は有意に高かった。

1行あける

文献 MS ゴシック

1) 山内芳忠, 山内逸郎. 母乳栄養児の授乳回数とその臨床的意義. PerinatalCare. 1989; 8 (2): 119-123.

2) 単行本の場合: 著者名. 署名. 版数, 発行者, 地名, 発行年(西暦): 引用頁(引用頁は必要な場合に記入) とすること。

最終のページは左右同程度の行数とする

文献の書き方は、次の形式を守ってください。 ※大阪母子医療センター雑誌投稿規程に準ずる

1. 記載順序は引用順とし、本文中では引用部分の右肩に文献番号^{1) 2) 3)}と付けること。
2. 雑誌の場合: 著者名. 表題. 雑誌名. 発行年(西暦); 巻: 最初頁-最終頁(通巻頁数). とすること。
 - 1) 著者名: 6名以下の場合は、全員の名前. 7名以上の場合は、3名(和文表記なら「他.」、欧文表記なら「et al.」) とすること。
 - 2) 略名: 外国誌は Index Medicus, 邦文誌は医学中央雑誌略名表(医学中央雑誌刊行会編)を用いること。
 - 3) 電子ジャーナルまたはオンライン速報版: doi(論文につけられたID番号)を記載すること。doiがない場合は、論文にアクセス可能な<URL>と公開(更新)日もしくは入手日を記載すること。
3. 著書の場合: 著者名. 表題. 編者, 書名. 版数, 発行者, 発行地, 発行年(西暦); 引用頁(引用頁は必要な場合に記入) とすること。
4. ウェブサイトのみで公開されている文献: 著者名. 文献題名. アクセス可能な<URL>と公開(更新)日もしくは入手日を記載すること。

6. 院内倫理審査について

人を対象とする研究は倫理委員会での審査が必要である。但し、『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針ガイダンス』第1章第2(1)-7における解釈に基づき、倫理審査が不要な場合もある。

倫理審査申請までの流れ

1. 看護研究計画書と必要書類は、部署の指導者および看護師長の承認を得る。
2. 部署での承認後、担当研究委員の事前チェックを受ける。
3. 必要書類を倫理委員会事務局(臨床研究支援室 内線 3241)に提出する。

(センターホームページ：倫理委員会審査の流れ 参照)

必要書類 *センターホームページからダウンロード可

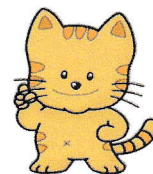
<https://www.wch.opho.jp/center/activities/rinri.html>

- 1) 倫理審査申請書類チェックリスト
- 2) 倫理委員会申請用紙
- 3) 研究計画書
- 4) (必要時) 説明文書・同意文書、各種添付資料(症例調査用紙、アンケート用紙など)

注) 倫理審査申請には、事前に研究者全員が「研究倫理セミナー」を受講する必要がある。

お知らせ

看護研究発表者の方へ



看護研究発表について

20□□. □. 看護研究委員会

看護研究を担当している方々、長期にわたりお疲れ様です。
いよいよ第○回看護研究会が近づいてきました。
研究発表を行うにあたり以下のことをお願いします。

項目	期日	配布先	注意事項
抄録	○月○日まで (2週間前)	- 座長2名と自部署の講評者1名、各部署(*参照)に1部ずつ)分を看護管理室に提出 - 看護研究委員会メーリングリスト (ml-kanken@wch.opho.jp) に配信	① 「看護研究抄録の作成規定」に準じて作成 ② 看護管理室よりまとめて配布 ③ 差し替えは発表会当日に配布または口頭で行う
集録原稿素案		- 座長2名と自部署の講評者1名に各1部ずつ配布 - 看護研究委員会メーリングリスト (ml-kanken@wch.opho.jp) に配信	① 「看護研究集録原稿の作成規定」に準じて作成
発表スライド原稿		座長2名と自部署の講評者1名に各1部ずつ配布 <u>*パワーポイント以外を使用する場合は、事前に看護研究委員長へお知らせ下さい</u>	① スライドは写真を含め、10～15枚まで ② 1ページあたりのスライド数「4」と設定し各スライドに番号を付ける ③ A4用紙に表裏で横向き、白黒印刷
発表会	○月○日 () (当日)	16:45～ パワーポイントは会場にて順次受付 ノートパソコンデスクトップ画面に保存後試写 会場設営 17:00～ 発表会担当者よりオリエンテーションおよび座長との打ち合わせ <u>*発表時間は7分、時間厳守に心がけて下さい</u> 発表会終了後、会場の後片付け	
ミーティング 第4回	○月○日	16:00～発表会での質疑内容や講評を含め、研究担当者から集録原稿作成に向けアドバイスを受ける	
集録原稿	1回目(素案) ○月○日	看護研究委員長に <u>指定部数</u> を提出	
	2回目(最終) ○月○日	看護研究委員長に書面(1部)と院内メールで提出	

*配布先：看護管理室・母性東・母性西・分娩部・母性外来・手術室・中央材料滅菌室・ICU・1E・新生児棟・2階東・3階東・3階西・4階東・4階西・5階東・5階西・小児外来・患者支援センター・医療安全管理室・感染管理室(計21部署)

関係各位

第 回 院内看護研究発表スケジュールのご案内

20□□年 □月 看護研究委員会

20□□年 10 月発表の第 回院内看護研究のご案内をいたします。

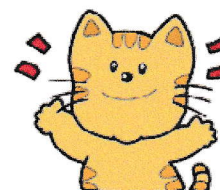
日頃の看護上の問題や疑問を明らかにし、よりよいケアを見出す機会になればと期待しています。

共に学びを深め、今後の看護に活かしましょう。

記

対象部署

日程 下記の日程は予定ですので、多少の変更はありますがご了承ください



	期日
研究計画書提出 ※1	
第 1 回ミーティング	
修正後の計画書提出 ※1	
第 2 回ミーティング	
倫理審査申請 ※2	
倫理審承認後の計画書提出 ※3	倫理審査承認後
発表原稿案提出 ※4	
第 3 回ミーティング	
抄録提出 ※5	
集録原稿素案提出 ※5	
発表会	
集録原稿素案提出 ※4	
第 4 回ミーティング	
集録原稿提出 ※6	

- ※1 研究計画書（研究協力依頼文・同意書・インタビューガイド・アンケート等、研究で使用する書類全て）を 13 部コピーして看護研究委員長へ提出。
部署の看護師長の印があることを確認してください。
- ※2 倫理審査に必要な書類を準備し、部署の研究指導者および看護師長の承認を得た後、担当研究委員の事前チェックを受け、臨床研究支援室に提出してください。
倫理委員会の指摘、修正事項をその都度、担当研究委員に報告してください。
- ※3 倫理審査承認後の研究計画書を 13 部コピーして看護研究委員長へ提出してください。
- ※4 13 部コピーして看護研究委員長へ提出してください。
- ※5 配付資料に従い提出してください。
- ※6 看護研究委員長に書面 1 部と院内メールで提出してください。

<ミーティングについて>

参加者：研究リーダーまたは研究メンバー、部署研究指導者または看護師長（指導者は必ず参加ください）

- ・第 1 回ミーティング（発表 15 か月前）：研究計画書および、アンケート・インタビューガイドの修正、適切な倫理的配慮について確認
- ・第 2 回ミーティング（発表 13 か月前）：同上
- ・第 3 回ミーティング（発表 2 か月半前）：発表内容、構成の検討
- ・第 4 回ミーティング（発表会 2.5 か月後）：集録原稿の確認

*上記以外にミーティングが必要な場合は、担当研究委員にミーティング希望を申し出てください。